

参考資料

参考資料

参考－1 地域別の市民意向

第4章の地域別構想については、地域毎の市民意向に基づき検討を進めています。

次ページ以降に、市民アンケート調査や第1～3回地域別市民会議で各地域にお住いの皆さまからいただいた意見を紹介します。

【学区別 市民アンケート回収率】

地域	学区	配布数(通)	回答数(通)	回収率(%)
西部湖岸地域	常盤	111	35	31.5
	笠縫東	237	74	31.2
	笠縫	248	93	37.5
	山田	183	53	29.0
	老上西	181	39	21.5
	計	960	294	30.6
北部中心核地域	渋川	213	69	32.4
	大路	259	103	39.8
	草津	257	118	45.9
	計	729	290	39.8
南部中心核地域	矢倉	221	83	37.6
	老上	206	85	41.3
	志津南	129	48	37.2
	玉川	277	84	30.3
	南笠東	187	47	25.1
	計	1,020	347	34.0
東部丘陵地域	志津	291	96	33.0
合計		3,000	1,027	34.2

(1) 西部湖岸地域

ア. 市民アンケート調査

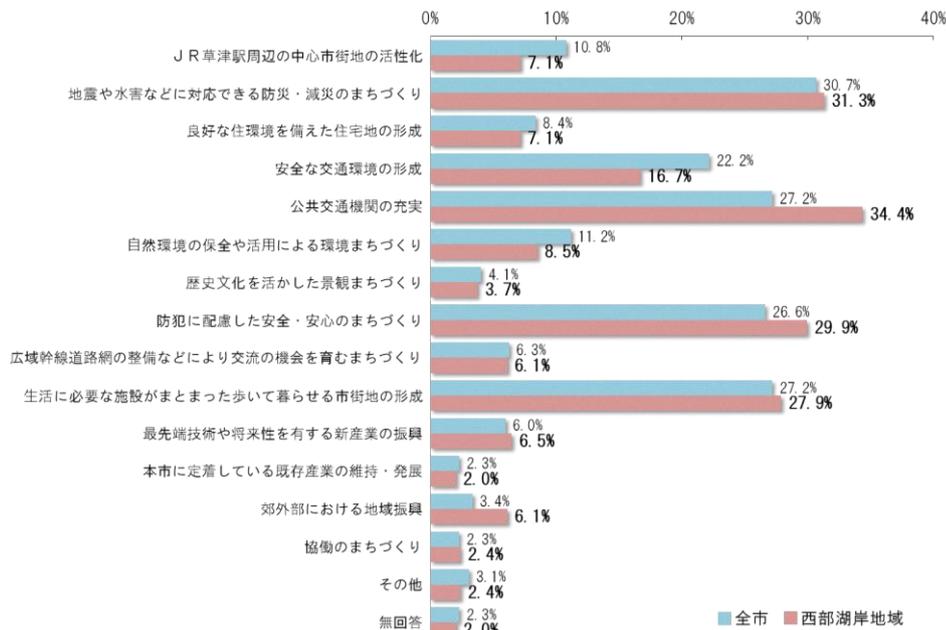
市民アンケート調査において、本地域にお住まいの皆さまの意向としては、次のとおりです。

①重点的に進めるべきまちづくりの分野

回答数が多く、全市の回答割合よりも多い項目は、「公共交通機関の充実」、「地震や水害などに対応できる防災・減災のまちづくり」、「防犯に配慮した安全・安心のまちづくり」、「生活に必要な施設がまとまった歩いて暮らせる市街地の形成」でした。

各学区で最も多い回答数は、老上西学区および笠縫学区は「地震や水害などに対応できる防災・減災のまちづくり」、山田学区および笠縫東学区は「公共交通機関の充実」、常盤学区は「公共交通機関の充実」および「生活に必要な施設がまとまった歩いて暮らせる市街地の形成」でした。

【重点的に進めるべきまちづくりの分野（西部湖岸地域）】



※2つまでの複数回答、回答者数に対する割合

No.	設問	全市	西部湖岸地域					
			老上西	山田	笠縫	笠縫東	常盤	
1	JR草津駅周辺の中心市街地の活性化	10.8%	7.1%	0.0%	3.8%	6.5%	13.5%	8.6%
2	地震や水害などに対応できる防災・減災のまちづくり	30.7%	31.3%	33.3%	26.4%	40.9%	25.7%	22.9%
3	良好な住環境を備えた住宅地の形成	8.4%	7.1%	7.7%	3.8%	4.3%	10.8%	11.4%
4	安全な交通環境の形成	22.2%	16.7%	28.2%	17.0%	15.1%	16.2%	8.6%
5	公共交通機関の充実	27.2%	34.4%	25.6%	39.6%	28.0%	40.5%	40.0%
6	自然環境の保全や活用による環境まちづくり	11.2%	8.5%	12.8%	7.5%	4.3%	14.9%	2.9%
7	歴史文化を活かした景観まちづくり	4.1%	3.7%	2.6%	5.7%	1.1%	6.8%	2.9%
8	防犯に配慮した安全・安心のまちづくり	26.6%	29.9%	41.0%	32.1%	31.2%	27.0%	17.1%
9	広域幹線道路網の整備などにより交流の機会を育むまちづくり	6.3%	6.1%	7.7%	1.9%	6.5%	6.8%	8.6%
10	生活に必要な施設がまとまった歩いて暮らせる市街地の形成	27.2%	27.9%	12.8%	35.8%	32.3%	18.9%	40.0%
11	最先端技術や将来性を有する新産業の振興	6.0%	6.5%	0.0%	5.7%	8.6%	8.1%	5.7%
12	本市に定着している既存産業の維持・発展	2.3%	2.0%	0.0%	3.8%	3.2%	1.4%	0.0%
13	郊外部における地域振興	3.4%	6.1%	2.6%	5.7%	4.3%	1.4%	25.7%
14	協働のまちづくり	2.3%	2.4%	0.0%	3.8%	3.2%	2.7%	0.0%
15	その他	3.1%	2.4%	5.1%	0.0%	3.2%	2.7%	0.0%
16	無回答	2.3%	2.0%	7.7%	1.9%	2.2%	0.0%	0.0%

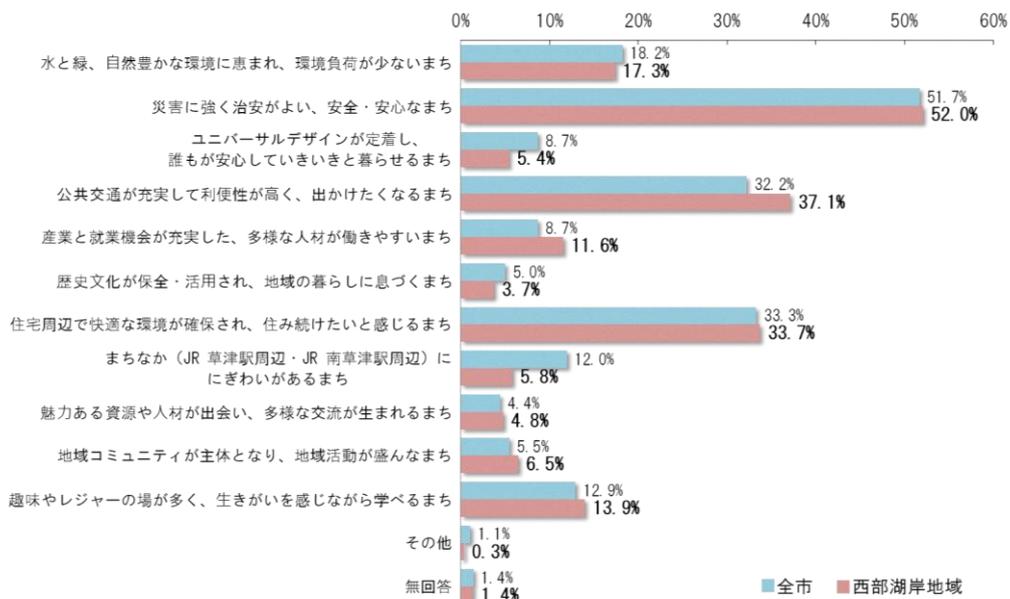
※赤色は全市での回答割合よりも高い箇所

②目指すべきまちの将来像

回答数が多く、全市の回答割合よりも多い項目は、「災害に強く治安がよい、安全・安心なまち」、「公共交通が充実して利便性が高く、出かけたいまち」、「住宅周辺で快適な環境が確保され、住み続けたいと感じるまち」でした。

各学区で最も多い回答数は、5学区全てで「災害に強く治安がよい、安全・安心なまち」でした。

【目指すべきまちの将来像（西部湖岸地域）】



※2 つまでの複数回答、回答者数に対する割合

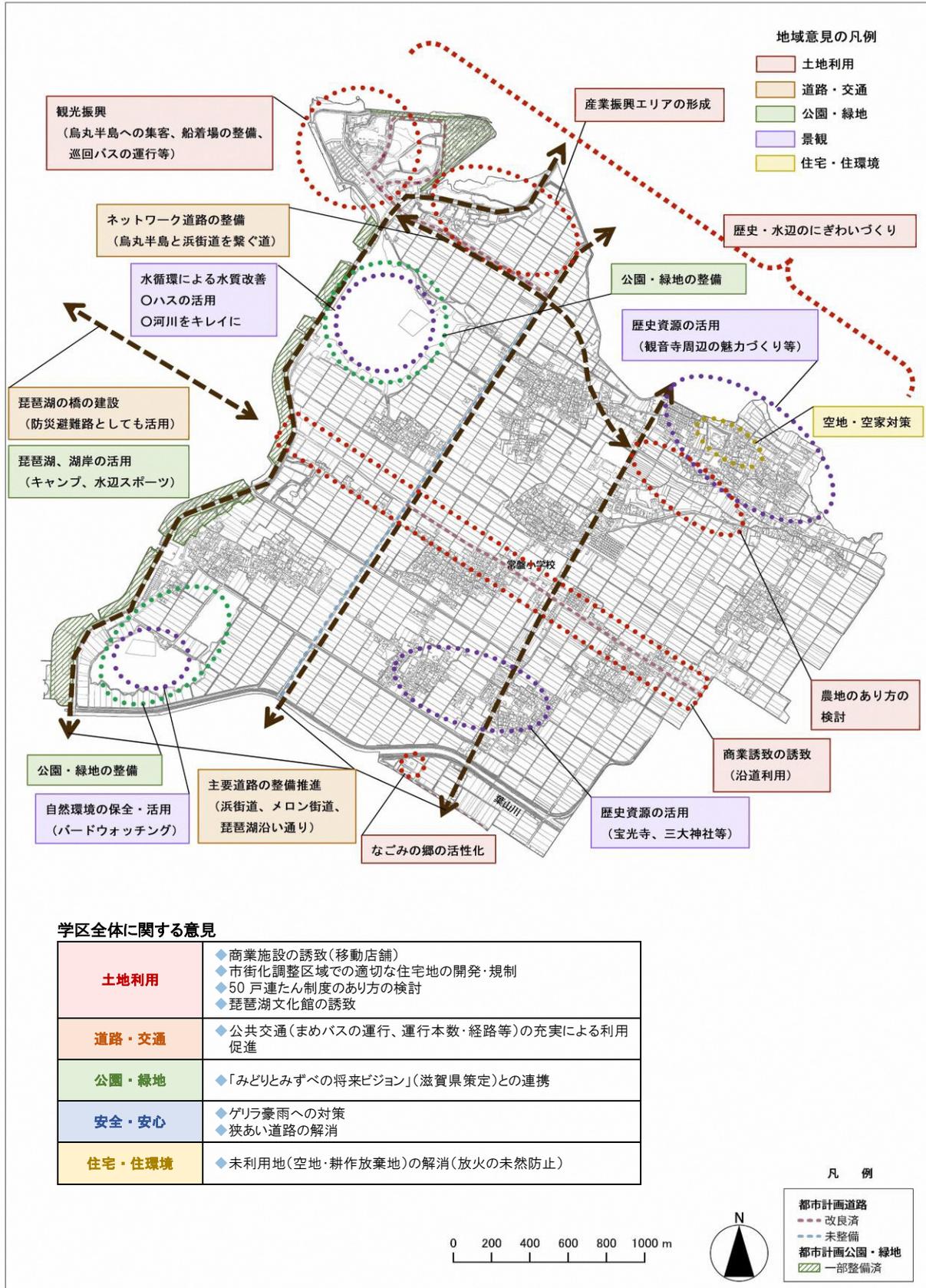
No.	設 問	全市	西部湖岸地域					
			老上西	山田	笠縫	笠縫東	常盤	
1	水と緑、自然豊かな環境に恵まれ、環境負荷が少ないまち	18.2%	17.3%	30.8%	11.3%	15.1%	17.6%	17.1%
2	災害に強く治安がよい、安全・安心なまち	51.7%	52.0%	59.0%	50.9%	50.5%	54.1%	45.7%
3	ユニバーサルデザインが定着し、誰もが安心していきいきと暮らせるまち	8.7%	5.4%	7.7%	3.8%	5.4%	6.8%	2.9%
4	公共交通が充実して利便性が高く、出かけたいまち	32.2%	37.1%	30.8%	43.4%	39.8%	33.8%	34.3%
5	産業と就業機会が充実した、多様な人材が働きやすいまち	8.7%	11.6%	2.6%	15.1%	8.6%	10.8%	25.7%
6	歴史文化が保全・活用され、地域の暮らしに息づくまち	5.0%	3.7%	5.1%	3.8%	0.0%	4.1%	11.4%
7	住宅周辺で快適な環境が確保され、住み続けたいと感じるまち	33.3%	33.7%	33.3%	34.0%	34.4%	33.8%	31.4%
8	まちなか（JR 草津駅周辺・JR 南草津駅周辺）ににぎわいがあるまち	12.0%	5.8%	7.7%	1.9%	7.5%	6.8%	2.9%
9	魅力ある資源や人材が出会い、多様な交流が生まれるまち	4.4%	4.8%	2.6%	3.8%	8.6%	1.4%	5.7%
10	地域コミュニティが主体となり、地域活動が盛んなまち	5.5%	6.5%	0.0%	9.4%	11.8%	2.7%	2.9%
11	趣味やレジャーの場が多く、生きがいを感じながら学べるまち	12.9%	13.9%	15.4%	15.1%	12.9%	14.9%	11.4%
12	その他	1.1%	0.3%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%
13	無回答	1.4%	1.4%	0.0%	0.0%	1.1%	2.7%	2.9%

※赤色は全市での回答割合よりも高い箇所

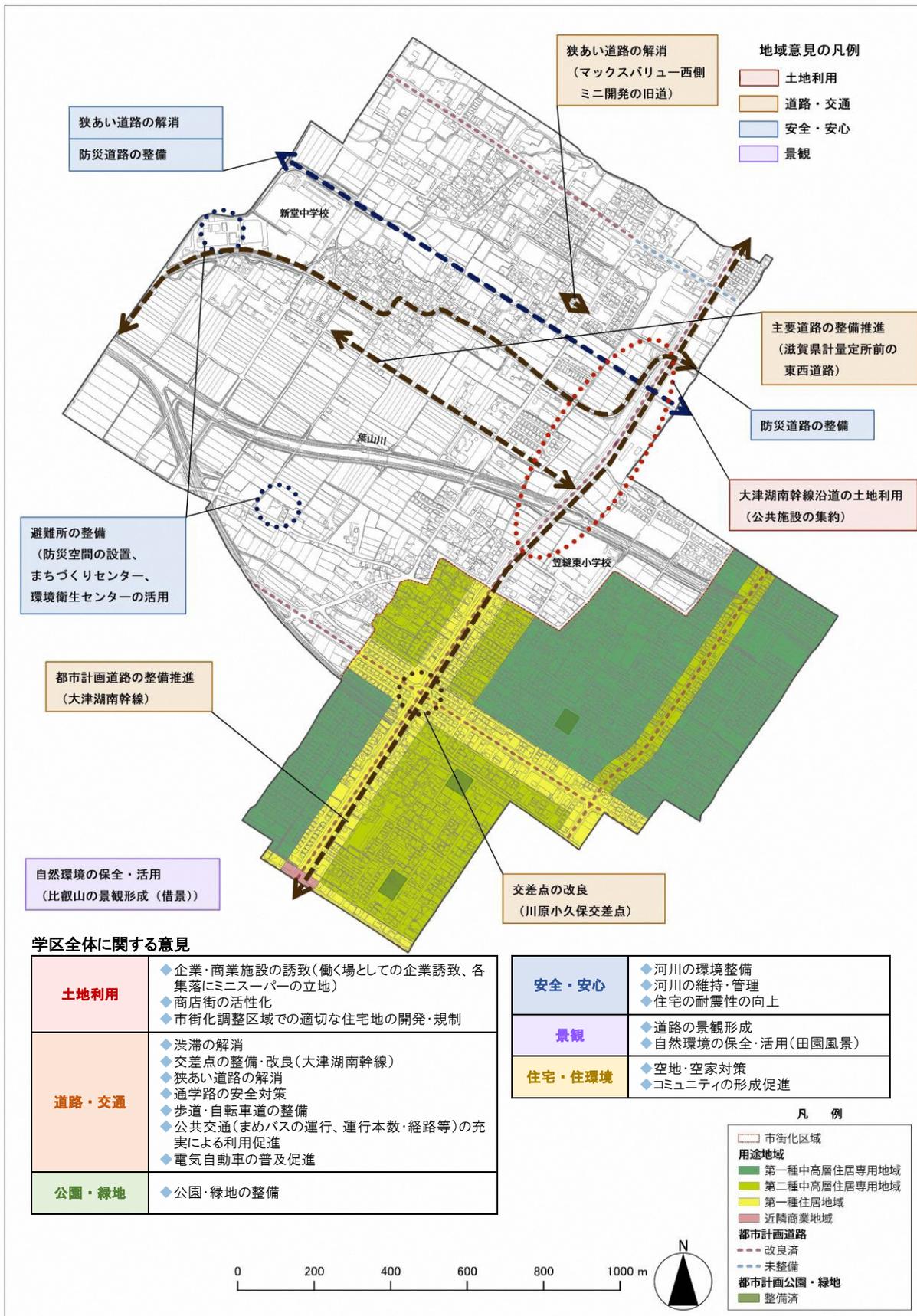
イ. 地域別市民会議

第1～3回地域別市民会議で本地域にお住まいの皆さまからいただいた意見は次のとおりです。

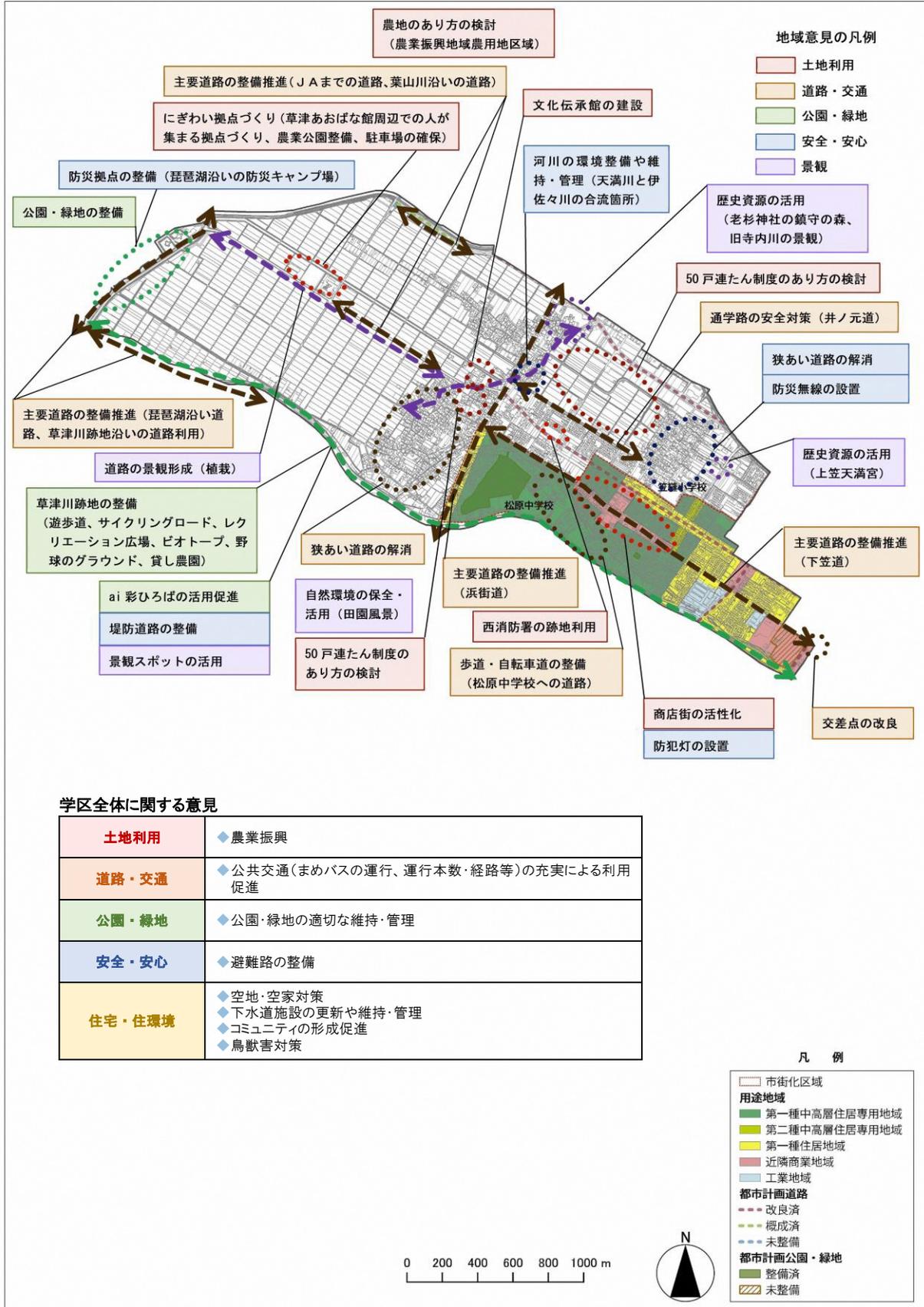
【地域からいただいた意見（常盤学区）】



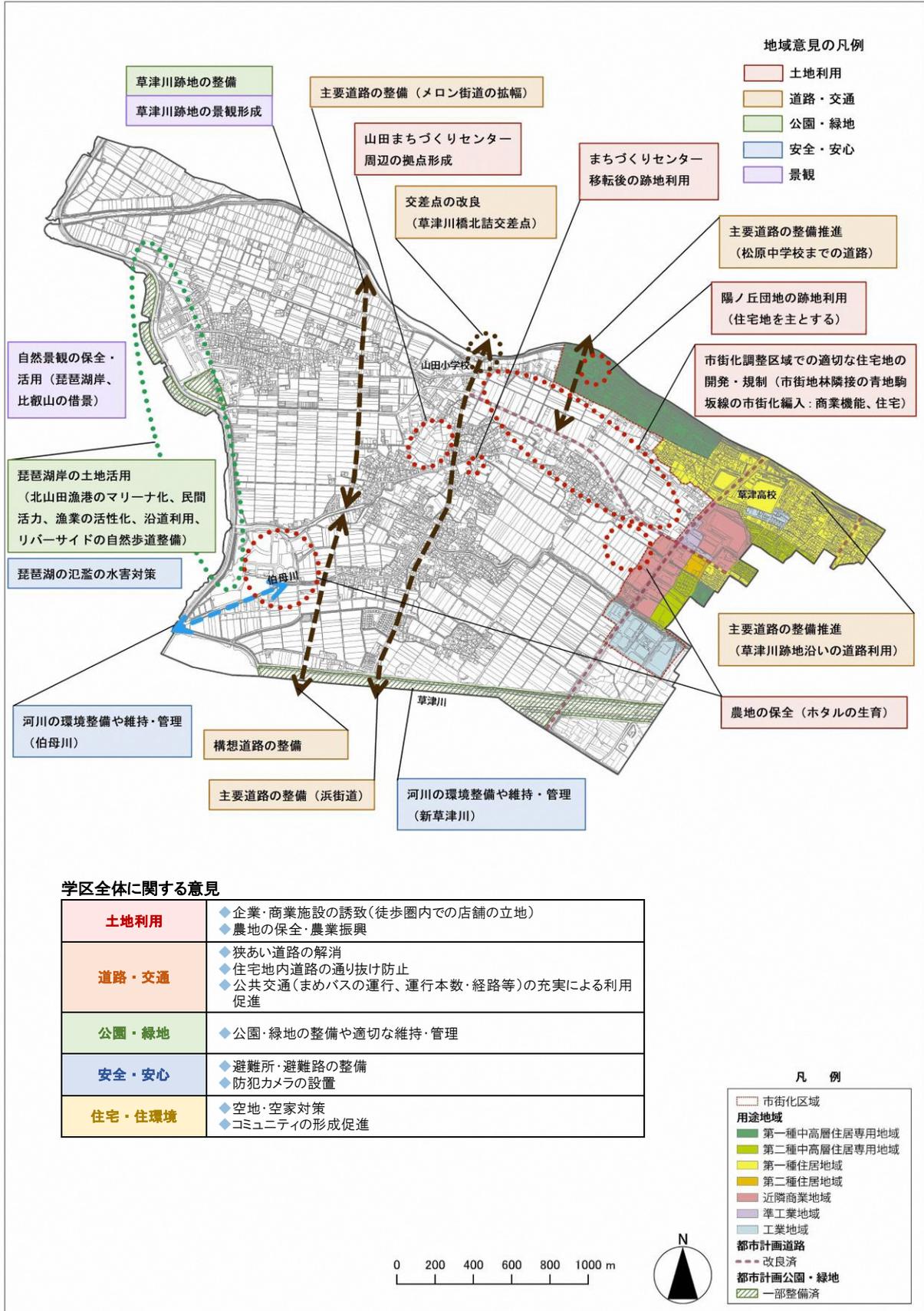
【地域からいただいた意見（笠縫東学区）】



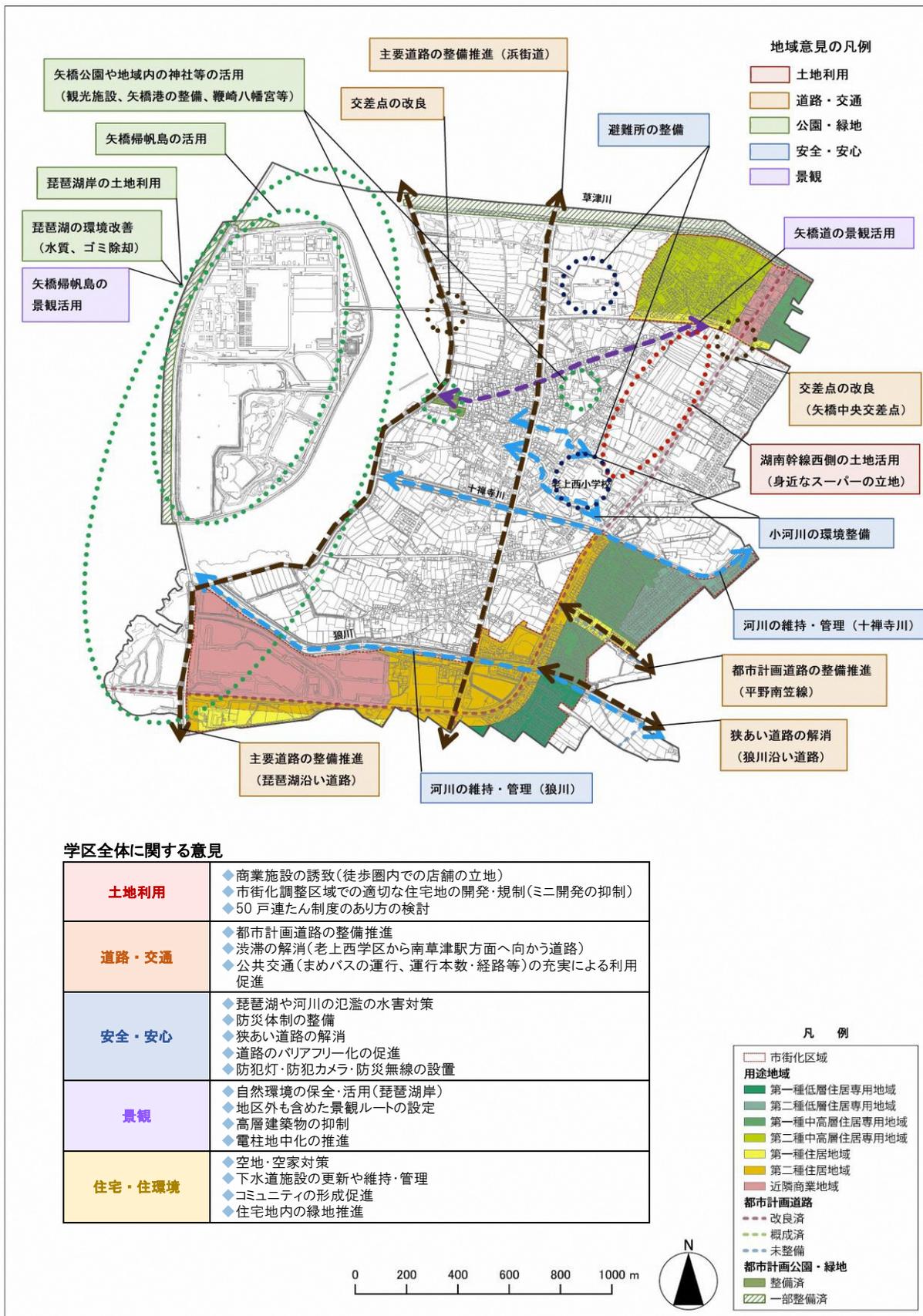
【地域からいただいた意見（笠縫学区）】



【地域からいただいた意見（山田学区）】

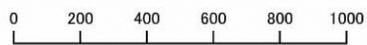


【地域からいただいた意見（老上西学区）】



学区全体に関する意見

土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ◆商業施設の誘致(徒歩圏内での店舗の立地) ◆市街化調整区域での適切な住宅地の開発・規制(ミニ開発の抑制) ◆50戸連たん制度のあり方の検討
道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> ◆都市計画道路の整備推進 ◆渋滞の解消(老上西学区から南草津駅方面へ向かう道路) ◆公共交通(まめバスの運行、運行本数・経路等)の充実による利用促進
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ◆琵琶湖や河川の氾濫の水害対策 ◆防災体制の整備 ◆狭あい道路の解消 ◆道路のバリアフリー化の促進 ◆防犯灯・防犯カメラ・防災無線の設置
景観	<ul style="list-style-type: none"> ◆自然環境の保全・活用(琵琶湖岸) ◆地区外も含めた景観ルートの設定 ◆高層建築物の抑制 ◆電柱地中化の推進
住宅・住環境	<ul style="list-style-type: none"> ◆空地・空家対策 ◆下水道施設の更新や維持・管理 ◆コミュニティの形成促進 ◆住宅地内の緑地推進



第4章 地域別構想で設定した西部湖岸地域の「地域の都市づくりの目標」については、第2回地域別市民会議で地域の皆さまから挙げた以下のキーワードも参考としながら設定を行いました。

学区	老上西	山田	笠縫	笠縫東	常盤
住環境		<ul style="list-style-type: none"> ○今住んでいる人が出て行かない、住み続けたいまち ○人が減らない努力、今のままと維持 ○住みたくなる ○新たな住環境 	<ul style="list-style-type: none"> ○閑静な住宅街 ○住 ○治安が良い ○住みやすい 		<ul style="list-style-type: none"> ○人が住みやすい【住みよい】大切 ○基本的な生活が区内でできるように ○年齢を重ねて住み続けられるように ○コンバクトシティときわ
道路・交通		<ul style="list-style-type: none"> ○ラスト1kmの移動 ○利便性を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ○便利 		
安全			<ul style="list-style-type: none"> ○安全安心を継承して ○防災 		
地域資源・歴史	<ul style="list-style-type: none"> ○美しい琵琶湖 ○街道 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光(今ある資源の利活用) ○レイクサイド ○親水性 	<ul style="list-style-type: none"> ○文化歴史の継承 ○文化伝承 ○担い手づくり ○後継者がいない 		<ul style="list-style-type: none"> ○水辺(琵琶湖) ○魅力 ○歴史・自然(つくられた自然の維持管理が難しくなっている)
自然・農業		<ul style="list-style-type: none"> ○食が豊富、食を中心としたまちづくり ○田んぼに囲まれた ○豊かな農 ○新しい農(地域の活性化につながる) ○企業農業 	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな自然(農の代わりこ) ○担い手づくり ○後継者がいない ○農、自然環境とまちの調和 	<ul style="list-style-type: none"> ○マザーレイク ○ヨットハーバー ○並木道 	<ul style="list-style-type: none"> ○みどり豊かな【活用・活かす】大切 ○農業振興 ○農業を地域の産業に ○農地再整備(将来をみすえて活用を検討、用水も含む) ○農地すみ分けが大切(保全、活用) ○大規模農業で利益を上げられるようにする
地域活動・にぎわい		<ul style="list-style-type: none"> ○地域が主役 ○動かないハードより動かすソフト ○人づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○憩える場(高齢者) ○居場所づくり ○楽しめるまち ○若い人が来てもらえるように ○遊ぶ、活動できる場所のある 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○美しい琵琶湖と街道がつながり、新たな「ふれあい」と「歴史」のまち 			<ul style="list-style-type: none"> ○トイレ 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康(幸)

(2) 北部中心核地域

ア. 市民アンケート調査

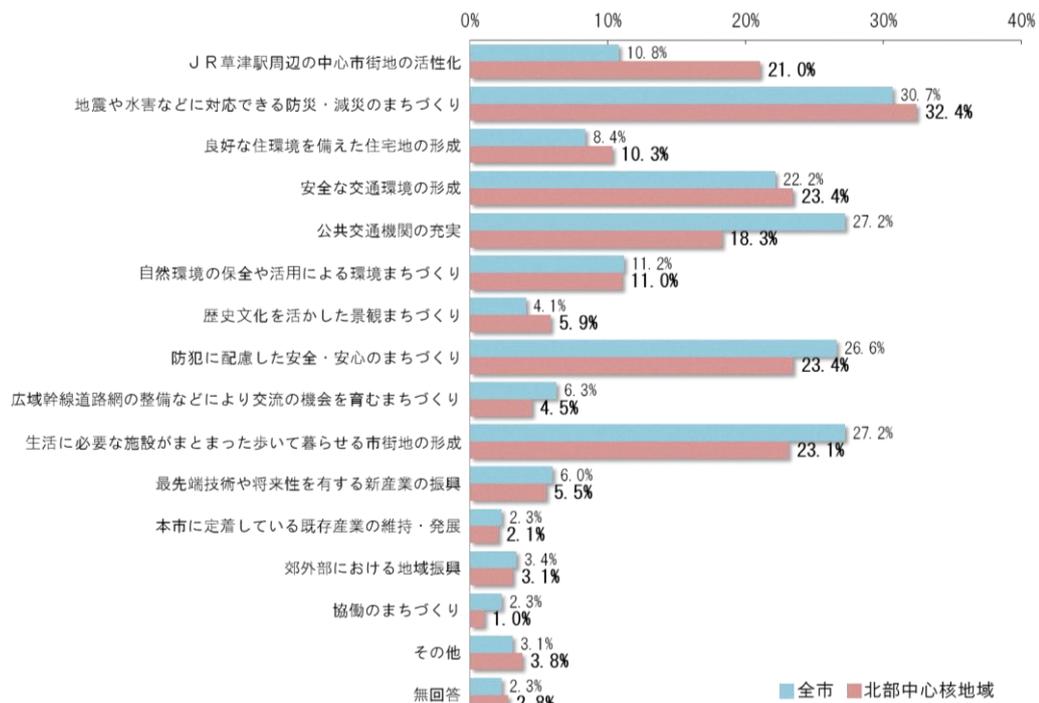
市民アンケート調査において、本地域にお住まいの皆さまの意向としては、次のとおりです。

①重点的に進めるべきまちづくりの分野

回答数が多く、全市の回答割合よりも多い項目は、「地震や水害などに対応できる防災・減災のまちづくり」、「安全な交通環境の形成」、「JR草津駅周辺の中心市街地の活性化」でした。

各学区で最も多い回答数は、草津学区と渋川学区は「地震や水害などに対応できる防災・減災のまちづくり」、大路区は「生活に必要な施設がまとまった歩いて暮らせる市街地の形成」でした。

【重点的に進めるべきまちづくりの分野（北部中心核地域）】



※2 つまでの複数回答、回答者数に対する割合

No.	設問	全市	北部中心核地域			
			草津	大路	渋川	
1	JR草津駅周辺の中心市街地の活性化	10.8%	21.0%	18.6%	22.3%	23.2%
2	地震や水害などに対応できる防災・減災のまちづくり	30.7%	32.4%	33.9%	28.2%	36.2%
3	良好な住環境を備えた住宅地の形成	8.4%	10.3%	11.0%	11.7%	7.2%
4	安全な交通環境の形成	22.2%	23.4%	27.1%	21.4%	20.3%
5	公共交通機関の充実	27.2%	18.3%	22.0%	14.6%	17.4%
6	自然環境の保全や活用による環境まちづくり	11.2%	11.0%	10.2%	14.6%	7.2%
7	歴史文化を活かした景観まちづくり	4.1%	5.9%	5.1%	3.9%	10.1%
8	防犯に配慮した安全・安心のまちづくり	26.6%	23.4%	22.9%	23.3%	24.6%
9	広域幹線道路網の整備などにより交流の機会を育むまちづくり	6.3%	4.5%	5.9%	2.9%	4.3%
10	生活に必要な施設がまとまった歩いて暮らせる市街地の形成	27.2%	23.1%	18.6%	31.1%	18.8%
11	最先端技術や将来性を有する新産業の振興	6.0%	5.5%	3.4%	9.7%	2.9%
12	本市に定着している既存産業の維持・発展	2.3%	2.1%	1.7%	2.9%	1.4%
13	郊外部における地域振興	3.4%	3.1%	2.5%	1.9%	5.8%
14	協働のまちづくり	2.3%	1.0%	0.8%	1.0%	1.4%
15	その他	3.1%	3.8%	3.4%	5.8%	1.4%
16	無回答	2.3%	2.8%	3.4%	0.0%	5.8%

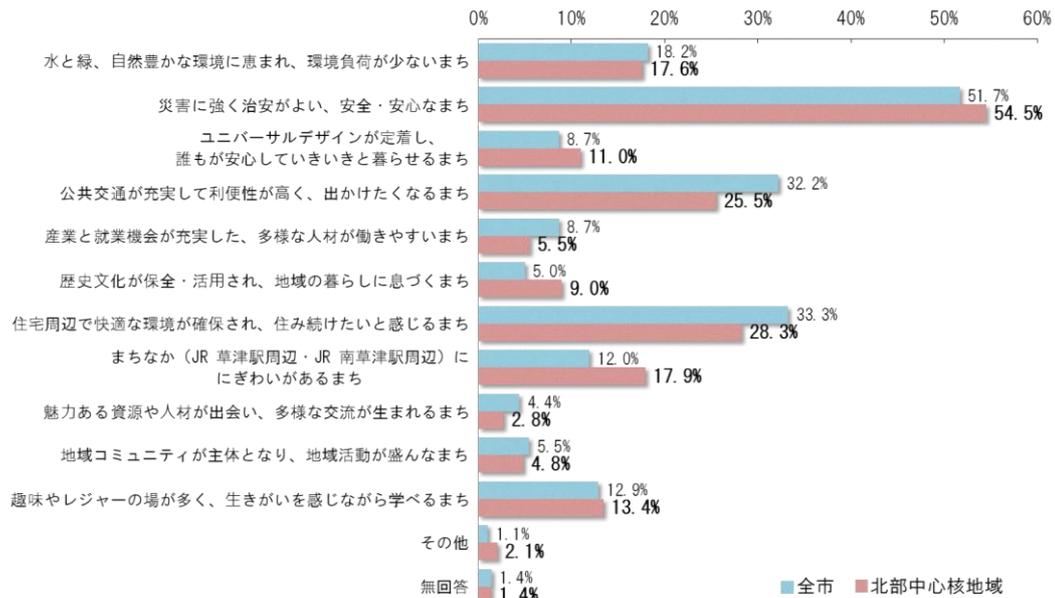
※赤色は全市での回答割合よりも高い箇所

②目指すべきまちの将来像

回答数が多く、全市の回答割合よりも多い項目は、「災害に強く治安がよい、安全・安心なまち」でした。

各学区で最も多い回答数は、3学区全てで「災害に強く治安がよい、安全・安心なまち」でした。

【目指すべきまちの将来像（北部中心核地域）】



※2 つまでの複数回答、回答者数に対する割合

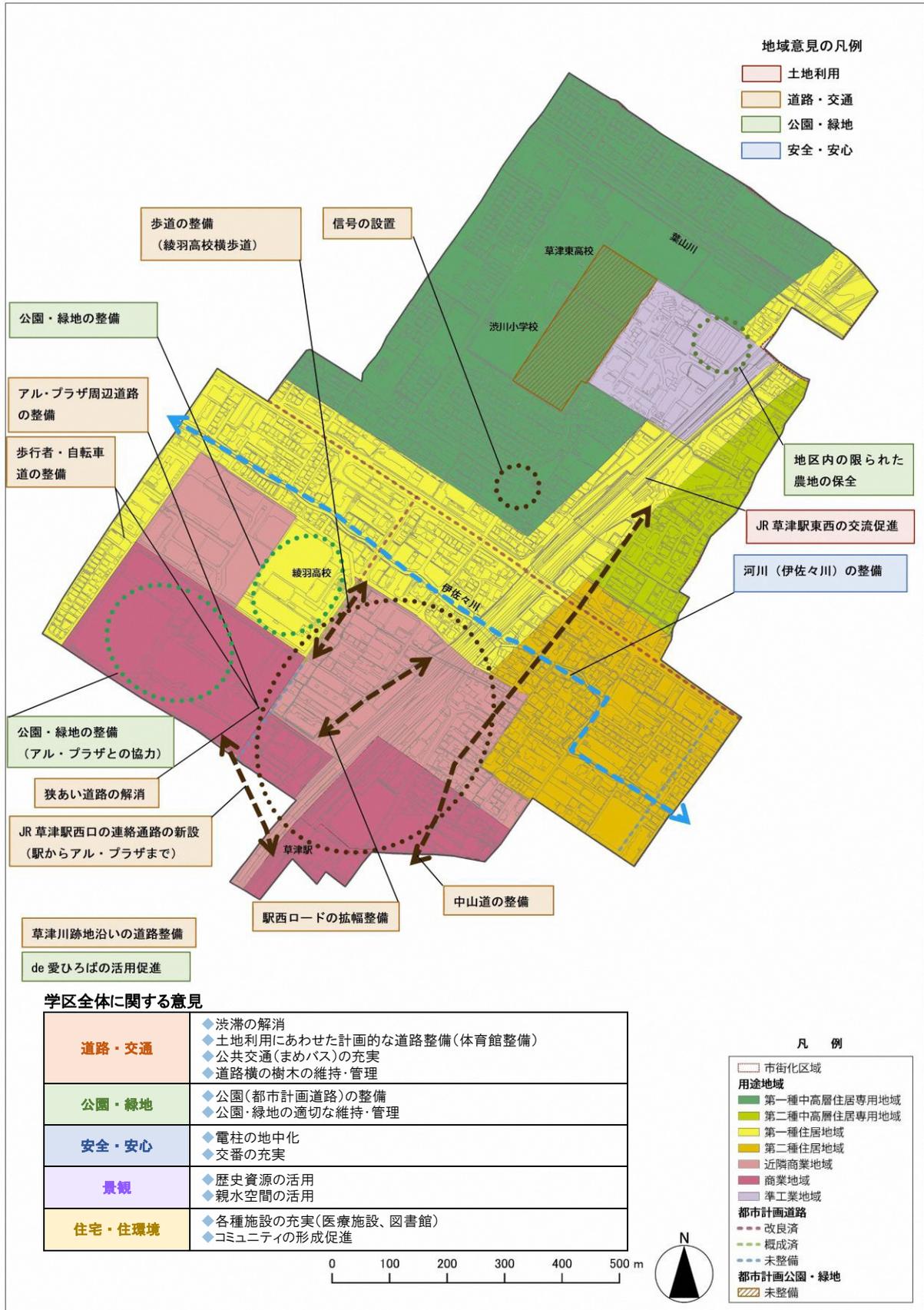
No.	設 問	全市	北部中心核地域			
			草津	大路	渋川	
1	水と緑、自然豊かな環境に恵まれ、環境負荷が少ないまち	18.2%	17.6%	16.9%	19.4%	15.9%
2	災害に強く治安がよい、安全・安心なまち	51.7%	54.5%	53.4%	58.3%	50.7%
3	ユニバーサルデザインが定着し、誰もが安心していきいきと暮らせるまち	8.7%	11.0%	11.9%	13.6%	5.8%
4	公共交通が充実して利便性が高く、出かけたいまち	32.2%	25.5%	29.7%	20.4%	26.1%
5	産業と就業機会が充実した、多様な人材が働きやすいまち	8.7%	5.5%	8.5%	3.9%	2.9%
6	歴史文化が保全・活用され、地域の暮らしに息づくまち	5.0%	9.0%	10.2%	4.9%	13.0%
7	住宅周辺で快適な環境が確保され、住みたいと感じるまち	33.3%	28.3%	24.6%	26.2%	37.7%
8	まちなか（JR 草津駅周辺・JR 南草津駅周辺）にぎわいがあるまち	12.0%	17.9%	11.9%	23.3%	20.3%
9	魅力ある資源や人材が出会い、多様な交流が生まれるまち	4.4%	2.8%	0.8%	3.9%	4.3%
10	地域コミュニティが主体となり、地域活動が盛んなまち	5.5%	4.8%	5.9%	2.9%	5.8%
11	趣味やレジャーの場が多く、生きがいを感じながら学べるまち	12.9%	13.4%	15.3%	13.6%	10.1%
12	その他	1.1%	2.1%	0.8%	3.9%	1.4%
13	無回答	1.4%	1.4%	0.8%	1.0%	2.9%

※赤色は全市での回答割合よりも高い箇所

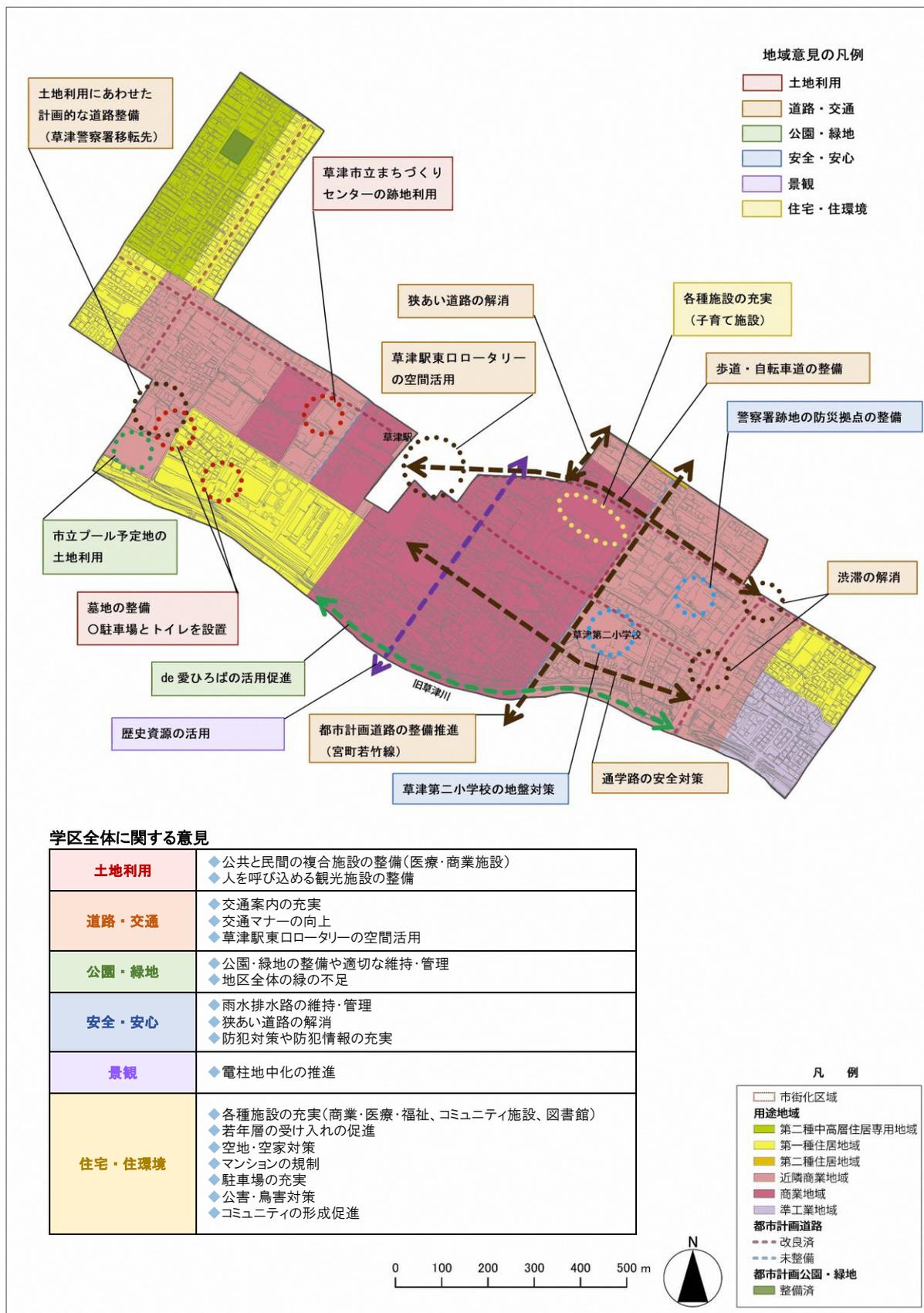
イ. 地域別市民会議

第1～3回地域別市民会議で本地域にお住まいの皆さまからいただいた意見は次のとおりです。

【地域からいただいた意見（渋川学区）】



【地域からいただいた意見（大路区）】



第4章 地域別構想で設定した北部中心核地域の「地域の都市づくりの目標」については、第2回地域別市民会議で地域の皆さまから挙がった以下のキーワードも参考としながら設定を行いました。

学区	草津	大路	渋川
住環境			○快適な環境が確保され、住み続けたいと思うまち
道路・交通	○草津市全体的に道が狭い ○北、南の道路が3本しかない	○公共交通機関の充実を図り、車の所有を減らす(環境にも良く、車の渋滞が解消される。高齢者の運転によるリスクも減る)	○コンパクトシティ ○スマートシティ ○利便性の高い快適な住環境
安全	○旧本町の空き家対策	○安全安心のまちづくり(ルールを守るまちづくり) ○南海トラフは必ず起こります。その際の対応を視野に入れ、啓蒙が必要と考えます。自助が一番です	○セキュリティシティ ○安心安全、住みたい住み続けたいと思える草津市 ○安全な交通環境 ○防災・減災 ○安全・安心
地域資源・歴史			○歴史と文化の香る空間
自然・農業			
地域活動・にぎわい	○「次世代につなぐ」の文言は盛り込みたい		○市民の声としては、人と人との交流や地域活動に関する項目については、関心が薄いようですね。今後の町内会の在り方についてどう取り組んで行くかですね。
その他		○歴史資源を最大限に活かしながら、住・商の共生が活力と魅力を生み出すまち ○子ども達の郷土愛を醸成するような環境(自然環境に限らない)づくり ○市が誇る伝統文化を活かしながら商業・医療の充実	○「～し続ける」ということが大切だと思うので、歴史資源を魅力として活かしながら、住・商の共生で活力を高め続けるまち